

第29号

すずかけひろば



〒252-0186相模原市緑区牧野 1987

TEL(042)689-3145

FAX(042) 682-0988

E-mail:suzukakenoie@nifty.com

<http://suzukakenoie.art.coocan.jp/>

発行責任者：宮内眞／担当：奥田弘美

『得意なことを得意なひとがやる。

生き活きて

うまく廻ると、1人の力でやるよりすごく良くなる、

響き合う。この感じが、やっぱ **好きだ!**』

(スタッフ大坂さん)

すずかけの家の紙芝居

全て動物と化した、すずかけの日常のストーリー。

イラスト下絵と、脚本はスタッフの石毛さん。利用者さんが下絵に色を塗ったり、

読み手は人前でのスピーチや歌が上手な利用者のOさん(右下写真)とスタッフの大坂さんが担当しました。



イラストを描いた、石毛さん(練習風景)

かわいらしく、ユーモラスにすずかけらしさがちりばめられた絶妙なストーリー。



なめくじいさん、うさぎばあちゃん、遊びにくるネズミの小学生など



奥さんが亡くなったばかりのカップ爺さん「大丈夫よ〜」「私も同じよ〜」



ゆずカフェ(認知症予防カフェ)で地域の介護事業所紹介が行われ、紙芝居はそこで披露されました。スタッフの大坂さんが今回を通して感じたこと

『つながりの中で、共に』

いろんな、いろんな人がいる。

余裕がなくて

想像できなくて

理解できなくて

理解されなくて

怒りや悲しみや生きづらさがあり、

困ったり困らせたりする。

きれいごとのようだけれど

実際やんのは一筋縄ではいかなくても

その人の本質的なものの方に、

光をあてたい。

「その人らしく暮らすとは?」

という問いを持ち続けていたい。

アンコ椿は恋の花を唄いあげた

Oさん(右写真)に会場は拍手喝采(*~*)

親しみやすくて、にぎやかで…すずかけの家の

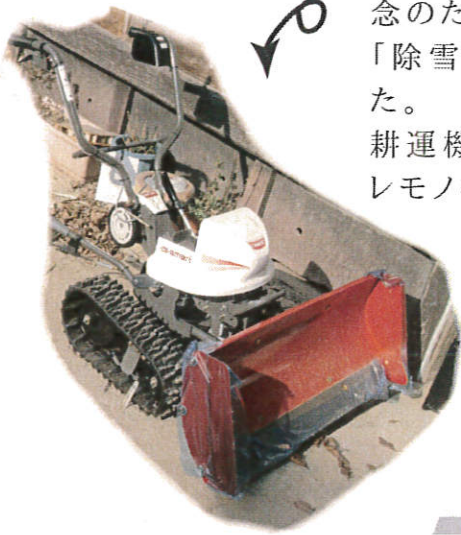
暮らしをリアルに表現したものになりました。



変化の季節

別れあり
出会いあり

ピカピカ 快適～☆



ちよっぴり経済的見通しがついたので、念のための雪対策に「除雪車」を買いました。耕運機にもなるスグレモノなんです



日本財団の福祉車両が手に入りました。



その他、ガスレンジ、電子レンジ、トイレ（ウォシュレット）なども新しくなりました！

もの



古民家に手を入れながら、より快適に現代に活かします。

断熱戸や網戸がついたり、薪も1年分十分に確保できたり。キッチン床も新しく！

快適な空間のために働く人（スタッフ、ケイタさん）



空間



すずかけを共に創りあげてきた利用者さんとの悲しいお別れがあったり、新しく地元藤野の方が増えたり

山中真純さん
（やまなかますみ）さんが仲間入り！
おいしい料理をつくってくれまへす

ひと

みんなで作る『自遊な暮らし』

すずかけの家

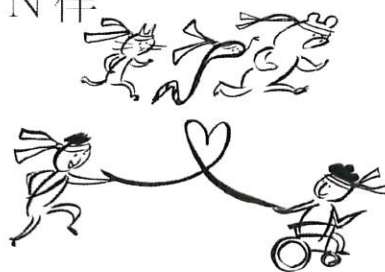
すずかけの家は
介護福祉のことで
ご紹介のりまです
お気軽にご連絡ください



イベント

6.3 (土)
RUN伴

参加者
募集中



6.11
落語会

つなぎ手

編集、デザイン：『生きるを仕事へ』主婦ライター 奥田弘美